

## 平成24年度 インターンシップ経験者が 学んだこと / 感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

### 【NPO 法人（健康/文化）】

#### ◆学んだこと

温泉を文化として捉えるという視点は今まで考えてもみなかったことであるが、NPOの勉強会、シンポジウム等に参加することで、温泉は世界に誇れる日本の大事な文化資産だと学んだ。新潟県の松之山温泉、群馬県高山村、奈良県十津川温泉、兵庫県有馬温泉、鳥取県内の温泉調査を行うことで、東西の温泉文化の違いを学び、温泉はお湯だけではなく、地域の自然環境、歴史、人、文化等と一緒にあって非日常の空間を構成することだと理解した。

NPOの会で知り合った、鳥取県の倉吉市から関金温泉の歴史と文化について書いて欲しいと依頼された。その文章は12月1日に行われた行政、温泉旅館、介護施設が一緒に行ったイベントで来訪者に配られた。それを読んだ住民の方から「地元に住いても知らないことで大変勉強になった。」と言葉を頂いた。

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

インターンシップのおかげで新しい世界が広がりました。お世話になったNPOの研究會やシンポジウムに参加して幅広い業界の方と知り合いになりました。

キャリアセミナーのゲストの方が皆さんおっしゃった言葉「人とのつながりがあってここまでできました」 私もインターンシップで築いた人間関係を大事に今後、さらに羽ばたきたいと思います。インターンシップは自分の可能性を大きく広げるチャンスです。

### 【ソフトウェア開発企業】

#### ◆学んだこと

インターンシップをさせて頂いて痛感したことは学生と社会人との意識の違いだと思います。まだまだ学んでいる途中ですが、自分の責任の重さが学生のと看とは遥かに違ふと感じました。

また仕事なので、自分がどこからどこまで出来るか、または出来ないかの判断を正確に把握しておかなければ周囲に迷惑をかけてしまいます。わからないことがあればすぐに聞く、わからないままにしておかないことの大切さが1番重要だと思いました。

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

インターンシップ前は全くの未知の世界ということで不安も大きく、毎日勉強の日々ですが、思い切って挑戦してみて良かったと思います。

これからインターンシップを考えていらっしゃる方、良い機会だと思いますのでぜひ頑張ってください。

## 【公益財団法人（国際交流）】

### ◆学んだこと

初日からいきなり大きな仕事を任せられました。大阪の未来図を描く「グランドデザイン」の中国語の翻訳で、大阪府のHPに載せるものです。私の専攻の都市計画とも一致するので、即戦力を発揮できたと思います。

中国語の翻訳を通して、ただ直訳するだけでなく、その出典、説明や深い意味も理解する必要があるため、よく調べることは大切です。中国語の漢字や定番の言い方がないとき、どのように分かりやすく翻訳するかを考えなければなりません。

登録ボランティアの研修やサポーター連絡会議でも、起案から携わりました。将来の仕事の形を実現することができ、良好な人間関係も築くこともできました。

仲間が協力し合って、無事に通訳サポーター連絡会議・専門家会議を連続的に開きました。開始から終了までいろいろなことを学ばせていただきました。初めて司会を務めさせていただいたので、すこし緊張しましたが、皆様のお陰で、無事にやり遂げたと思います。また、会場の参加者からいろいろな通訳の話を聞かせて頂き、とても勉強になりました。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

\* 公的文章を翻訳することや、ほかの書類を翻訳することで、自らの訳文を追究すると同時に、翻訳に対する自信もつきました。いままでの自分の専門と中国語教授法の経験を活かしたと思いました。

\* 通訳ボランティア活動経験者への書類作成に際して、いままでの研究調査との共通点を見つけました。

\* 通訳者サポーター連絡会議・専門勉強会のプログラムの作成に関して、職員の意見を聞きながらプログラムの流れを模索し、その実行可能性を考えるようになりました。

ここでのインターンシップを通して、日々支えてくれる仲間と共にやり遂げる達成感や喜びを深く味わうことができました。

これからインターンシップを考える皆様は、真剣に自分がやりたいことに向き合うことで、必ず新しいものを得られるでしょう。

## 【県立 自然博物館】

### ◆学んだこと

\* 飼育 生物を研究しているものの、飼育は趣味程度の経験しかありませんでした。自然博では海水魚の水槽を担当することになり、飼育する上で多くのことを教わりました。そして、重要なのは生物と接する中で小さな変化に気づくことだと感じています。

\* プレゼン 学芸員の皆さんは、取材でも、子どもへの解説でも、研究会の発表でも話をされるのが本当に上手で大変勉強になりました。何を伝えたいか、ということを確認

に持っていることが大切だと思いました。

\*研究 優先すべきさまざまな業務があり、ここでは研究に費やせる時間は限られています。それでも、少ない時間を有効に使って調査・研究がおこなわれています。どのような職場に関わることになったとしても、研究への意欲を持ち続けたいと思います。

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

当初に比べると、担当している水槽の魚も随分と大きくなり、私も同じように成長できたのだろうか、と振り返っています。受け入れ先は県立の施設であるため、研修後そのまま採用されるわけではありませんが、実際に自然博物館という場で業務に携わり、数多くの貴重な経験ができました。受け入れて下さった館に感謝するとともに、ここでの経験を必ず次のステップへと繋げたいと考えています。

専門分野は様々だと思いますが、これからチャレンジされるみなさんにも本事業を最大限に活用してそれぞれの希望する道に進んでいただきたいと思います。

### 【財団法人（国際平和）】

#### ◆学んだこと

\*分かりやすく説明することの難しさ

— 押し付けにならないような説明、人を引き付けるような説明＝話術の重要性

\*視野を広げられたこと

— 研究面での専門分野の一点集中型ではなく、視野を広げて物事を見る能力が身についた

\*戦争体験を伝える難しさ

— 直接の戦争体験者の高齢化から、その体験を風化させないために、次の世代にどのように語り継いでいくか

\*「戦争と平和」に対する考え方の変化

— ただ戦争の悲惨さを伝えるのではなく、平和な世界にするためにはどうしたらいいか、何が必要かという未来志向の考え方へ

#### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

まさに期待通りの5か月でした。

自分が幼い頃から関心を持っていたテーマに沿った平和博物館でインターンシップができたのは、言わば自分の原点に戻ってきたこと、これは何かの縁に違いないと思っています。

毎日が勉強で、あっという間に残り半月になってしまいました。それだけ充実した毎日を送れているのだと思います。

インターンシップはこれまでの研究で培ってきた能力を、研究以外の場で発揮できる絶好のチャンスだと思います。自分の可能性を広げたいと思うみなさまにぜひ挑戦していただきたいです。

## 【伝統工芸工房】

### ◆学んだこと

他の産地では、全工程を一人で行う職人さんも多いですが、輪島は各工程の職人さんが専門に特化していることで、良質の製品が効率よく作れる場所であると分かりました。

インターンシップ開始前と比べ、専門書の内容がすんなりと頭に入るようになってきましたし、研究の世界と同じように、書籍が必ずしも正しくないことも経験から学びつつあります。

「日本産漆」の良さについては、一筋縄では理解できないと痛感しています。いろんな情報で得てきた「日本産が良くて中国産が悪い」という話は必ずしも正しくないのかもしれませんが。これはいろいろ試すしか答えを見つけられないと思うので、フランスに帰ってから時間をかけて取り組みたいです。

「理想と現実は違う」と痛感してへこむことも多々ありますが、それでも欧米でこれから漆器が受け入れられる要素は多いと強く思う気持ちは変わりませんでした。フランスでの活動の準備を進めつつ、残りの時間を充実させたいと思います。

### ◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

「フランスに嫁入りするため、研究職を辞める」と決意してからも、何度も引き返そうと思いましたが、辞めて寂しいなと思うことも、最初のころはありました。

でも、「新たに始めるなら何がしたいのか」を模索しながら、新たな人・モノ・場所に積極的に出会いに行くうちに、「漆」に出会えました。一年前には想像すらしなかった「輪島での生活」ですが、充実していて毎日が楽しいです。

「新たな興味」を模索するのは最初は大変かもしれませんが。まずは日常で「いいな」もしくは「いやだな」と感じた時に「なぜそう思ったのか」、理由を常に考えてみてください。「いいな」を自分の中に蓄積していく中で、新たな「好き」が見えてくるかもしれません。そうして、新たな道に踏み出す決意ができたなら、このインターンシップはかなりオススメです。ぜひ参加してみてください。

## 【子ども向け職業体験型テーマパーク運営企業】

### ◆学んだこと

#### \* 広報業務 \*

一般的な広報の基礎（リリース発行・取材対応・校正）だけでなく、この会社特有の広報業務（視察対応・社内報の発行・スポンサー様向けレポート発行）を学びました。インターン期間中に、メディアご家族を対象としたイベント運営に関わることができ、1000名近いお客様にご来場いただきました。日頃メールでのやり取りの多いお客様と直接お会いできたことは今後につながる貴重な経験だったと感じています。また、広報業務は各部署とのコミュニケーションが必須であり、そうした中で会社全体の目指す目標・その達成のための各部署の役割と責任について広く理解することができました。

\*テーマパークを支える Backyard\*

イベント開催時やホリデーシーズンには、オフィススタッフもテーマパーク内に交代で入り、テーマパークの運営を手伝います。スタッフの強い Can Do Attitude が、会社を支える一つの鍵になっていると感じます。また社長をはじめ幹部の現場第一主義という姿勢が会社全体に浸透しており、高い集客率を維持するポイントだとも感じます。そして、会社の進もうとする方向が現場に示されていることも、進化を続ける大きな原動力となっていると思います。

◆感想 / これからインターンシップを考える人へのメッセージ

\*新しいフィールドへ\*

専門分野を究めた皆さんへ、その過程で培った力を存分に発揮して、新しい分野にチャレンジしてはいかがでしょうか？そうした 1 歩は、勇気も覚悟も必要ですが、新しい世界が広がることは間違いありません。長期インターンシップを派遣先にご自身を知ってもらう機会としてだけではなく、皆さんが派遣先・新しい分野を知るための機会として楽しんでみられてはいかがでしょうか？

\*自己分析セミナー・キャリア開発支援本部の活用\*

帰国・転職・結婚・・・と目まぐるしく変わる環境にあっても納得してインターンを始めることができたのはN講師お手製テキストと明るいセミナーのおかげだと感謝しております。

また、奈良女子大学のキャリア開発支援本部は、どんな時でもプロジェクト参加者の意思を尊重し、的確にアドバイスをくださる女子学生・女性の就職の強い味方だと思って間違いありません。

インターン派遣先の面談設定や派遣先選定など到底一人では出来ないようなことも、キャリアコーディネーターと二人三脚で進めさせていただきました。アットホームな雰囲気ですべて皆さんを応援してくださる H501 をぜひご活用ください。